

等の主張を決議し、業務協賛を得て灘萬に於て晩餐會を催した。

一方執行機關たる理事會は八年十一月十九日阪本理事長の下に

常務 金子忠吉 會計 平井 榮藏 購買 魚谷米二郎

外務 内田文市 監査 黒田 徳松 監査 高橋金五郎

氏及び井崎川口中幸友保泉宮川上田塚本鈴木本部員等に依つて成立し古き後援者たる日野國明氏顧問を就任せられたるに會し脈々たる熱情は困苦來る毎に意氣頓に高潮し、偏見誤解を壓倒し斷々乎として戦ふの決意を有するものである

### 第十一章 鐵工組合の決意

工鐵組合は必ずしも海外の労働運動の模倣をするものでない。我々は歐州に於ける労働運動が我々に活きた教訓を與へる事を感謝する、然し乍らその戦術に於て必ずしも彼等の轍を踏む必要なしと確信するものである。今や我國労働運動界を見渡せば一方徒らに激越の論調を以て寧ろ自然にして底力ある労働運動を阻み又一方に於ては労働團體の假面を被り労働者を

して權利なき奴隷たらしめんと努むる者しあるのである

斯くの如き頑迷と矯激の二極端に對し我が大阪鐵組工合は常に中庸を保ち一方飽迄も労働者の權利を主張し生活の確保に努むると共に労働者の義務を承認し、正當なる條件の下に忠實に労働する事は労働者夫れ自身に忠なる所以を自覺し、今や着々堅實に發達しつつあるのである

見よ匹夫の志も奪ふ可からず、我が鐵工組合に對し各種各様の壓迫來るとも鐵工組合並に鐵工組合の精神は倒れず奪ふ可からず、鐵工組合は今日の微々たる一小團體に過ぎざれど其根本精神は炳乎として輝き何人とも雖も無謀にこれをま阻んとする者あらば轟然として爆發するのであらう

鐵工組合の組織、財政を顧り見れば余りに不備不完全である然し乍ら我等の前途は洋々たるものである我等の運動は私利私慾の運動でなく撤頭撤尾正義の運動たる事を確信する者である我等は過去よりも更に將來に於て大なる難關來り會するは蓋し覺悟の前である、我等は過去の回悲に時間を空費する事なく斷々乎として理想世界建設に向つて邁進するものである。